

Weekly Report



中部名古屋みらいロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立日：2009年1月16日
会長：古橋武之 副会長：高橋一吉
幹事：鈴木順平 会長エレクト：伊藤正樹
例会日：毎週金曜 19:30～20:30
例会場：2760地区ガバナー分室

連絡先

TEL：052-211-2760
FAX：052-211-0230

E-mail：info@chubunagoyamirai.jp
荷受先：〒460-0003名古屋市中区
錦二丁目15-15豊島ビル3F

Vol. 125 (2011/9/02)

第125回例会報告：江崎パストガバナー卓話

開催 2011年9月2日(金) 19:30開会 天候：晴れ時々曇
司会 鈴木順平 唱和 「我らの生業」

ゲスト 第2760地区 パストガバナー 江崎柳節さん
名古屋大須RC 浅野彰さん

出席報告 会員数28名 出席対象者会員数27名
125回 11年9月2日 本例会出席数 12名 44%
123回 11年8月19日 補正後出席数 12名 44%

会長挨拶：継承すべきもの・変えるべきもの

モーツァルトの歌劇「ドンジョバンニ」は、1787年にプラハで初演されて以来、常に演出が工夫され、聴衆に新しい感動を与え続けています。写真は2008年のザルツブツグ音楽祭での一場面で、当時その斬新的な演出が話題になりました。



祭での一場面で、当時その斬新的な演出が話題になりました。

伝統やブランドを維持するには、常に中身を変化し続けることが必要だと言われています。中部名古屋みらいRCの会員の皆さんには、ロータリーに入った以上、ロータリーの不変の精神を継承しつつ、自分たちの特性を活かした、新しい奉仕活動に挑戦する「覚悟と意欲」が求められています。

幹事報告

- (1) 9月9日 — 今年度の第1回食事例会の開催
- (2) 10月14日 — 例会変更。その代わりに10月16日(日)に福島ツアーを計画しようと思ったので

すが、今回は止めて、昼食例会に変わります。

- (3) 熊森企画 — 参加者の呼びかけと熊森1コイン基金への協力を。

委員会報告

ニコニコ Box

- 江崎 PG からは多大な金額を頂きました。
- 名古屋大須 RC 浅野さん Dr. 江崎 PG のお話を聞きして来ました。
- 伊藤さん ネパールで医療ボランティアをしている田中先輩と当クラブ古橋会長を引き合わせる事ができました。田中先輩はインターアクト出身と聞いてびっくりしました。
- 川瀬さん 皆様、いつもお役目ご苦労様です。
- その他 江崎 PG 宜しく願います。

ニコニコ Box に協力いただいた方々は以下の通りです。

古橋さん、菅井さん、鈴木さん、松井さん、伊藤(正)さん、川瀬さん、ティリさん。(順不同、苗字のみで失礼します。)



Weekly Report



中部名古屋みらいロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立日：2009年1月16日
会長：古橋武之 副会長：高橋一吉
幹事：鈴木順平 会長エレクト：伊藤正樹
例会日：毎週金曜 19:30～20:30
例会場：2760 地区ガバナー分室

連絡先

TEL：052-211-2760
FAX：052-211-0230

E-mail：info@chubunagoyamirai.jp
荷受先：〒460-0003 名古屋市中区
錦二丁目 15-15 豊島ビル 3F

江崎 PG 卓話（1）：

中部名古屋みらい RC との関わり

2007年度のガバナーを努めるごろに中部名古屋みらいロータリークラブの設立について協議を開始したが、組織まで行かず、結局成立したのは2009年度になりました。

江崎 PG 卓話（2）：ポリオの撲滅

ポリオの撲滅はロータリークラブの国際事業として進めてきました。色々とところで支援を行い、国連や様々な政府の企画に協力してきました。その中に、本当に優れた企画も多にあります。例えば、インド政府が毎年実施している「ポリオ撲滅日」の企画は著しく大成功です。国連はこの企画の効果に注目し、現在アフガニスタンやナイジェリアにも同様な企画を導入するように両国の政府と協議しています。パキスタンにも同様な企画を開始しようとしています。ロータリークラブとしましては、ポリオ撲滅のために募金活動を強化し、2012年6月までに2億円の集金を目指しています。

江崎 PG 卓話（3）：クラブ出席率について

ロータリーに事業を進めるために、ロータリアンはお互いに背中を押し、共に刺激を与えることが重要です。ロータリーの活動の中に、最も大切なのは例会への出席とその場でロータリーの理想を学び合うことです。ロータリーで言われるリーダーシップは一般の組織におけるリーダーシップと相違し、ボランティアとしてのリーダーシップを発揮するために奉仕の精神を大切に、この精神を学習するためにロータリアン同士はお互いに例会での学び合いが充実しなければなりません。その故、例会への出席の重要さとクラブに参加する同業者の割合は10%以下とするルールの意味合いをロータリーが強調し続けています。また、ロータリアンになる究極的な理由は自分に対する磨きであることは理解しなければなりません。そして、例会への参加は、人のために力が尽くすことと自分の時間の重要

さを調和させることです。これは、ロータリーの哲学ともいえます。

